議事要旨(4) 金融商品専門委員会における検討状況（公正価値測定・開示）について

冒頭、加藤副委員長（専門委員長）から、公正価値測定及びその開示に関するプロジェクトの状況、並びに今後のスケジュールについて説明がなされ、丸岡専門研究員より公開草案に対するコメントへの対応案について説明がなされた。

説明の後、委員からの主な発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ある委員から、その他有価証券の決算時の時価と公正価値の考え方について、当面の間、「1か月平均市場価格の使用を認める」旨、公正価値測定の基準で明記する、という事務局の対応方針のメリットについて質問があった。これに対し事務局からは、金融商品会計基準の見直しに比べて公正価値測定の基準開発が先行しており、実務上の混乱を避けるための経過措置的な取扱いである旨の回答がなされた。
  また、ある委員から、金融商品会計基準の見直しの過程で再度検討するのかどうか明確にすべきとの発言があった。これに対し事務局からは、金融商品会計基準の見直しの中で対応する旨の回答がなされた。
- ある委員から、基準の適用時期について、作成者の対応等実態を踏まえた検討が必要である旨の発言があった。

以　上

財務会計基準機構の Web サイトに掲載した情報は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに条約によって保護されています。許可なく複写・転載等を行うことはこれらの法律により禁じられています。